

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県）

【第 38 週（2024/9/16～9/22）感染症発生動向調査速報値（2024/9/25 時点）】

定点医療機関※新規患者報告数：**198** 人、定点医療機関当たり **4.13** 人

※インフルエンザ/COVID-19定点（小児科29定点、内科19定点）

図1. COVID-19週別発生動向の推移（全国、富山県）

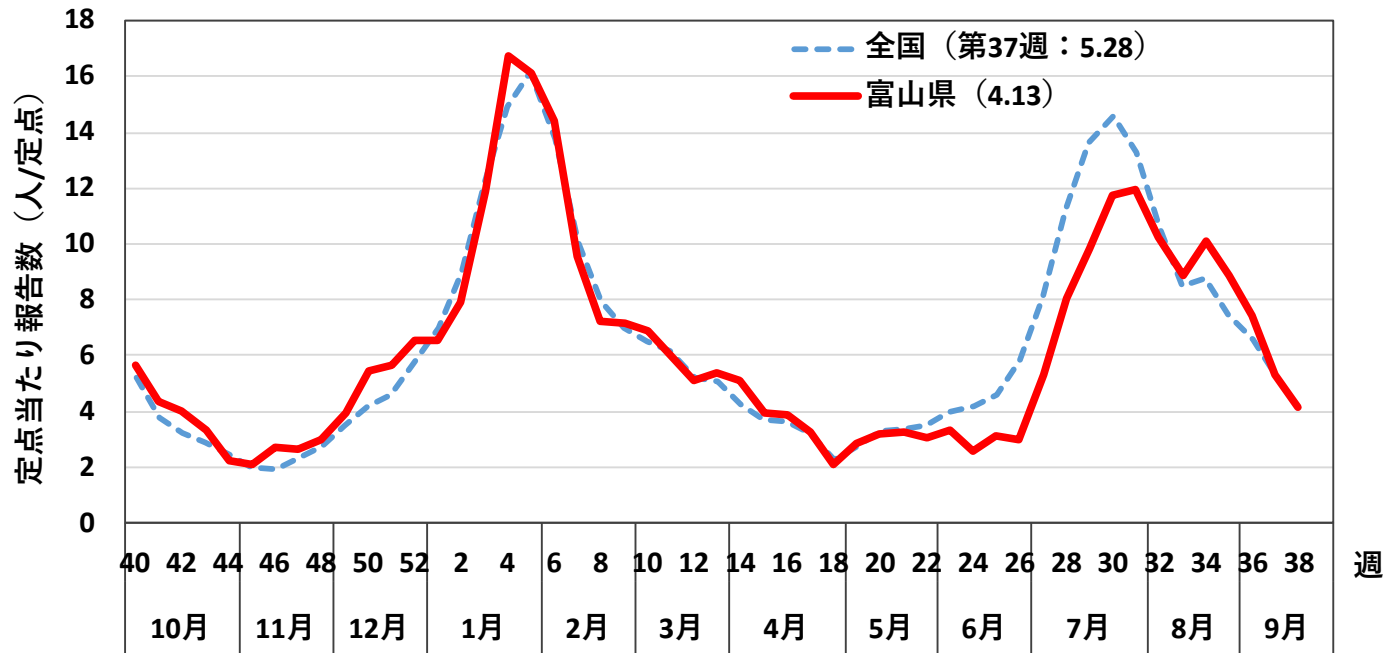
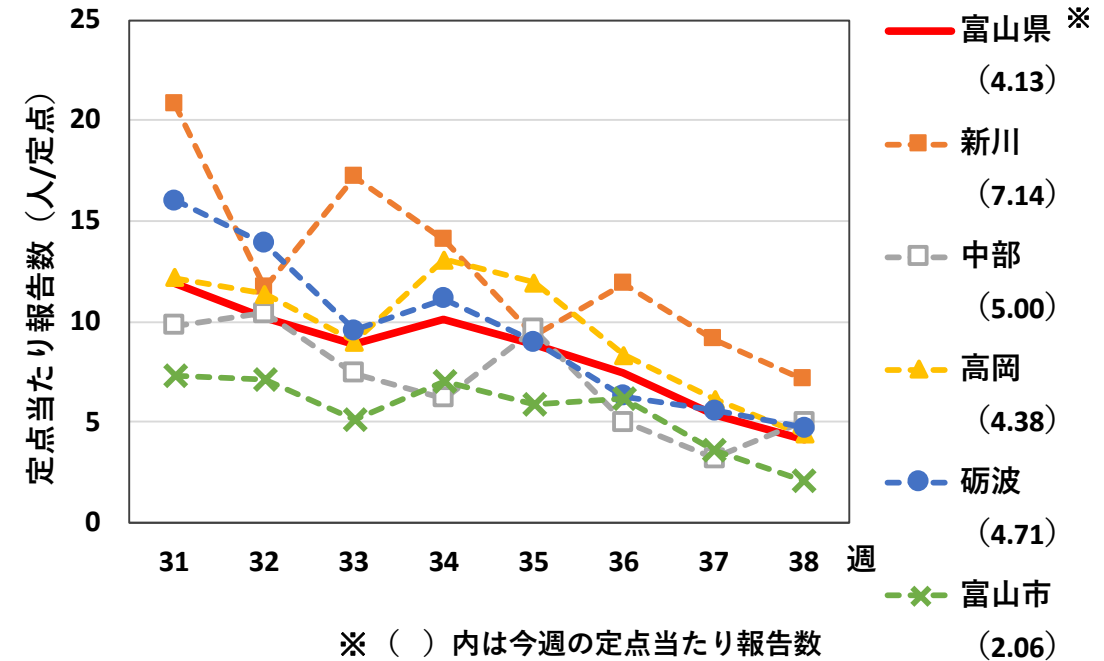


図2. 厚生センター（保健所）管内別発生動向の推移



- ・ 今週の定点医療機関当たり報告数は4.13人/定点であり、先週（5.33人/定点）から減少した（図1）。
- ・ 厚生センター・保健所管内別にみると、中部管内で増加した一方、その他の管内では減少した（図2）。

図3. 年齢階級別COVID-19報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

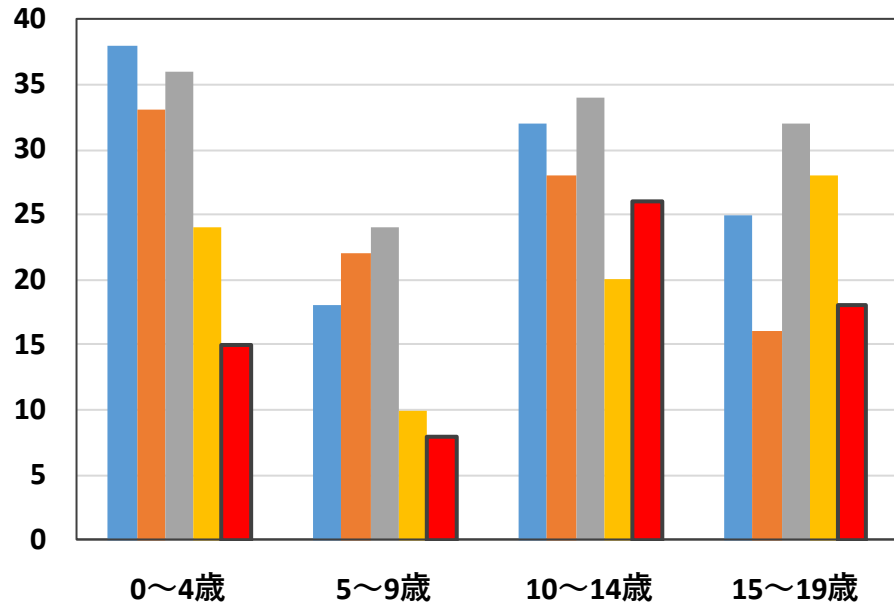
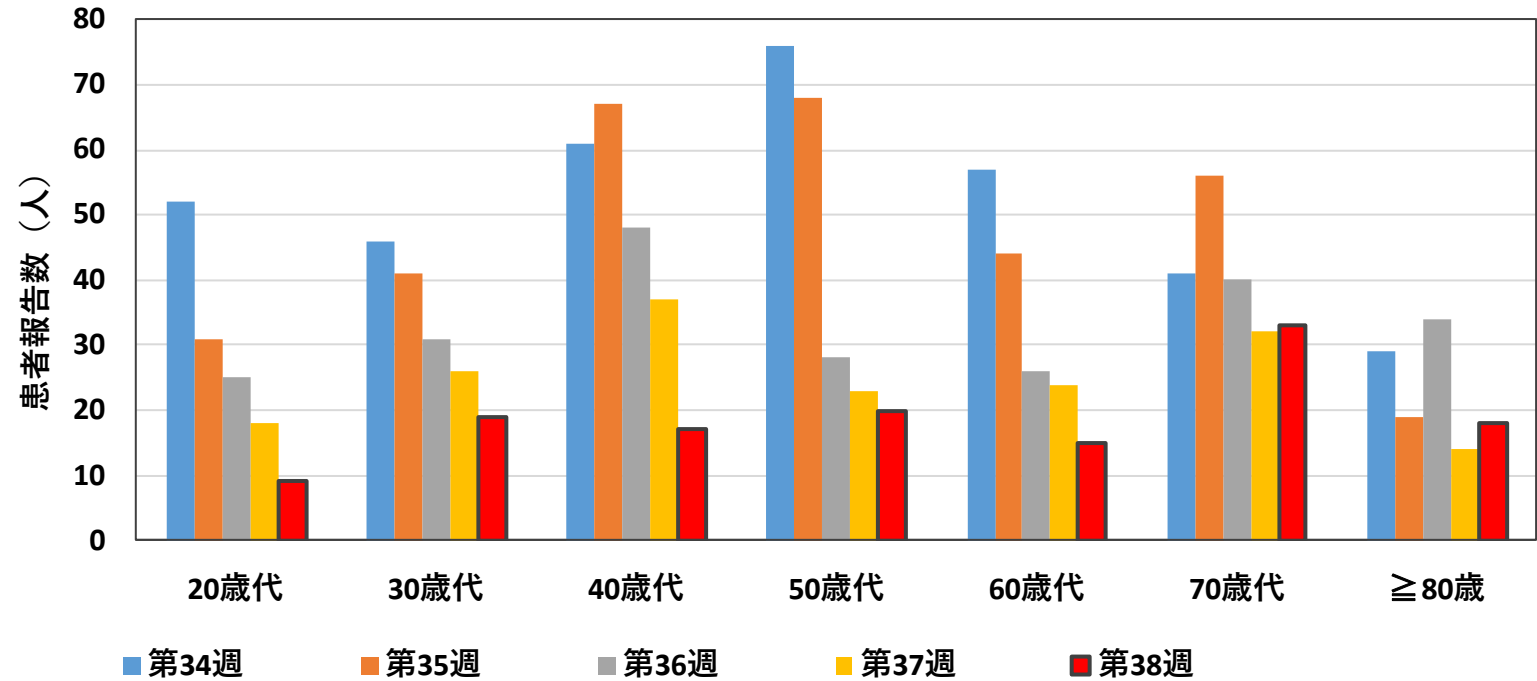


図3-2. ≥20歳



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：19定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 10～14歳、80歳以上で先週から増加したが、その他の年齢は減少または横ばいであった。

図4. COVID-19入院サーベイランス
患者報告数の推移（富山県）

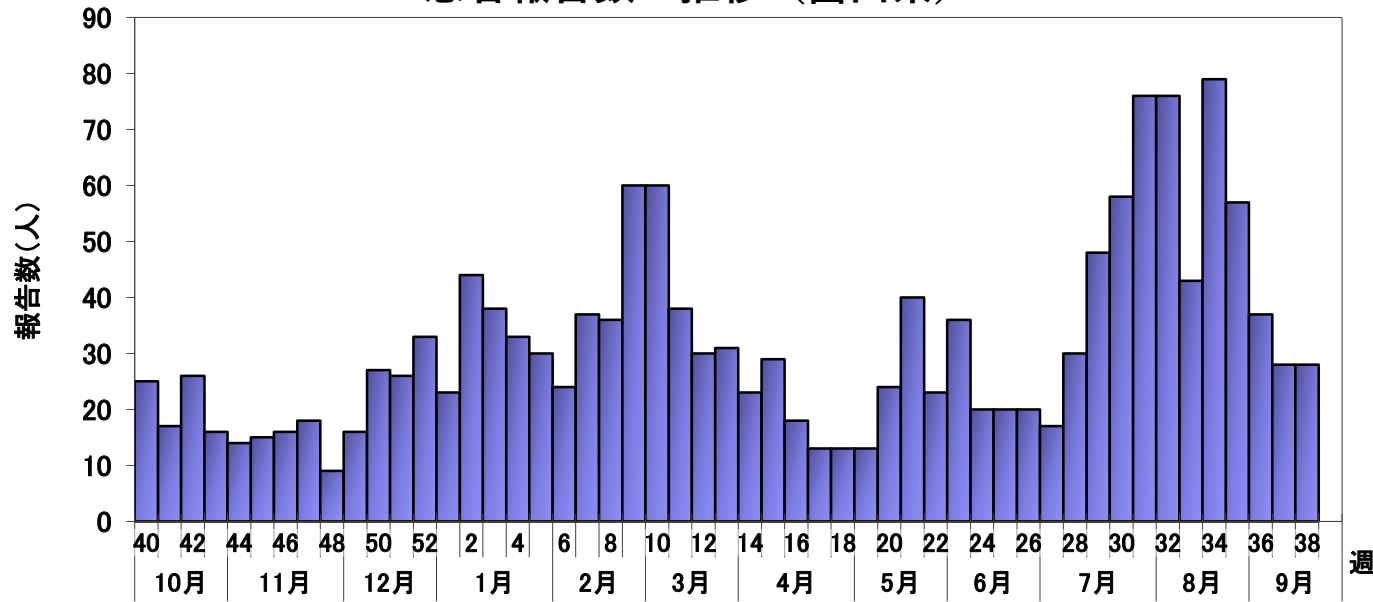
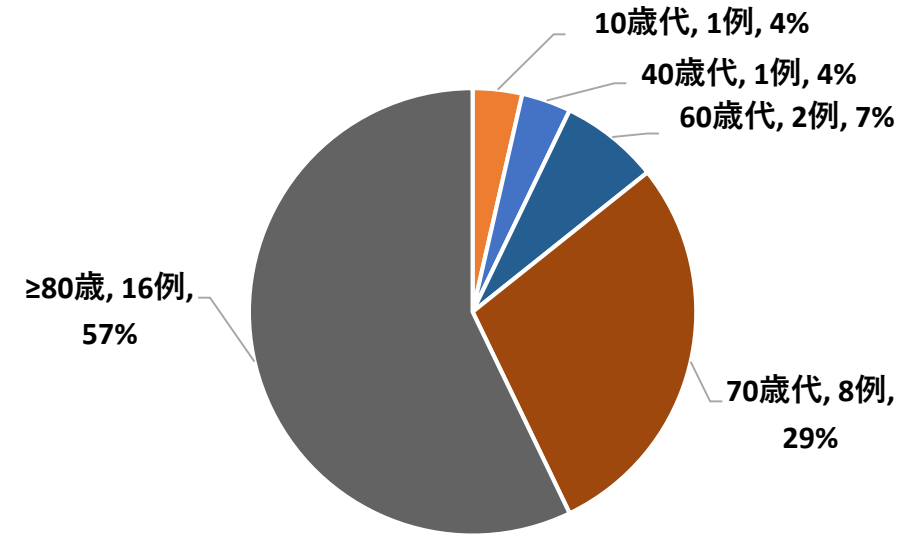


図5. COVID-19入院サーベイランス
年代分布（第38週、28例）



※割合 (%) は四捨五入した整数で表記されるため、合計が100%にならない場合がある。

- ・ 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第38週に28例の入院報告があり、先週（28例）と同数であった（図4）。
- ・ 患者の年代は、10歳代と40歳代が各1例、60歳代が2例、70歳代が8例、80歳以上が16例で、70歳以上が86%を占めた（図5）。
- ・ COVID-19の患者報告数は、県内では4週連続で減少しているが、入院患者数の減少は鈍化している。引き続き今後の感染動向を注視する必要がある。